

ほけんだより

とくべつこう
特別号

令和3年2月
大津市立青山小学校

今年度も残り2ヶ月です。毎日給食をおいしく、楽しく食べるために『食物アレルギー』について知ってもらいたいと思います。

●『食物アレルギー』ってなに？

『食物アレルギー』とは、ある特定の食べ物を食べると、かゆみやじんましん、息が苦しくなる、腹痛、おう吐などのアレルギー症状が出ることです。まちがえて食べてしまうと命にかかわる危険な状態になることもあります。また原因となる食べ物は人によってちがいます。

●どんな症状が出るの？



●学校で気をつけてほしいこと(先生たちからのおねがい)

①食物アレルギーはすききらいとはちがいます。まちがえて食べてしまうと体調が悪くなり、命にかかわることもあります。

②学校では、みんなが安全にたのしく給食を食べるためのきまりがあります。かならず守るようにしてください。

③運動会や校外学習などでお弁当をもってくるときは、お友だちにおかすをあげたり、もらったり、こうかんすることは絶対にしないでください。

④食物アレルギーがあるお友だちが「しんどい」と言ったときやようすがおかしいと思ったときはすぐに先生に知らせてください。



保護者のみなさまへ

・特定の食物を食べたり、触れたりすることで起こるアレルギーを『食物アレルギー』といい、皮膚症状(じんましん・発赤など)、呼吸器症状(咳・呼吸困難など)、消化器症状(腹痛・嘔吐など)の症状が現れます。

症状は軽いものから、皮膚症状・呼吸器症状・消化器症状が複数同時かつ急激に現れるアナフィラキシーのような重症度の高いものまで様々です。食物アレルギーの多くは摂取後2時間以内に症状が現れます。中には摂取後に一定量の運動をすることでアナフィラキシー症状を起こすこともあります。

・学校では、全校の児童が安全に給食の時間を過ごすように、食物アレルギーのあるお子様に対応させていただいております。ご家庭でもほけんだよりを活用いただき、お子様に食物アレルギーとはどういったものなのか、学校で気をつけることなどをお話ください。

・学校では、2年に一度アレルギー調査を行っております。調査時にアレルギーがなくても、後にアレルギー症状が出てくることもあります。その場合は学校にお知らせください。

